

いしかり砂丘の風資料館紀要

第12巻

BULLETIN OF THE ISHIKARI LOCAL MUSEUM

Volume 12

October, 2022



口絵1. 石狩湾沿岸で2022年に見られたカタクチイワシの大量漂着。
A, Bとも、2022年3月9日、石狩浜海水浴場付近。

口絵1. 石狩湾沿岸で2022年に見られた

カタクチイワシの大量漂着

Mass strandings of Japanese anchovy along the coast of Ishikari Bay, Hokkaido, Japan in 2022.

2022年3月上旬、石狩湾沿岸でカタクチイワシ *Engraulis japonicus* の大量漂着が確認された。

カタクチイワシはニシン目カタクチイワシ科の小魚で、成魚で体長10~15cm、腹面は銀白色、背面は青色。サハリン南部から台湾近海に分布し、沿岸域の表層で大群をつくる。食用で、煮干、シラス干しなどに利用する。石狩浜沿岸でも夏から秋にかけて波打際から魚影が見られ、しばしば生体が砂上に打ち上がることもある。

2022年3月3日から4日にかけて、石狩市北部の厚田漁港や古潭で大量に打ち上がっていたとの新聞での報道があり（北海道新聞，2022），その後3月8日に石狩市南部の石狩浜でも大量に漂着しているのを確認した。翌9日にも同地域で新たな大量漂着が確認できた（A）。汀線長1mあたりの漂着個体数は100尾を超える（B）ことから、石狩浜海水浴場周辺だけでも数万~10万尾規模の個体が漂着したことが見積もられる。

さらに後日、石狩浜の西方、20km離れた小樽市銭函の砂浜まで、大量漂着の痕跡が残っているのが確認できた。少なくとも海岸線長40kmを超える規模の大量漂着現象だったことが窺える。

（志賀健司）

引用文献

北海道新聞，2022. 厚田に大量のイワシ 海水温低下で漂着か. 北海道新聞2022年3月5日.



いしかり砂丘の風資料館 紀要

第12巻

目次

論説

- 石橋 孝夫：明治初期千歳市でスケッチされた「鮭猟」とは、どのような方法によるものか？—明治初期のテシ・ウライを考える— … 1

報告

- 坂本 恵衣：旧安瀬神社奉納物について … 15
- 志賀 健司：石狩市生振地区の格子状道路網“生振グリッド”の方位と地磁気の偏角の変動 … 21
- 荒山 千恵：黄金山の歴史・文化的景観について … 27
- 川井 唯史・栗林 貴範・品田 晃良・伊藤 昌弘・四ツ倉 典滋：石狩沿岸におけるコンブ類の分布 … 37
- 浅野（村木） 千恵：顕微鏡によるアイヌ衣装の繊維素材の観察と考察—石狩の中島氏所有のアトゥシについて— … 47

口絵

- 石狩湾沿岸で2022年に見られたカタクチイワシの大量漂着 … i

